

## 【勿来図書館】

勿来地区には、大正 14 (1925) 年 1 月 7 日に錦尋常小学校内に開館した「錦図書館」(大正 15 年 2 月に県知事の認可を受け、いわき地方最初の公立図書館とされている)や、昭和 25 (1950) 年 5 月に植田町役場の応接室に設置された図書室、昭和 27 (1952) 年 8 月に開館した「勿来町公民館図書室」がありました。

しかし、現在の「いわき市立勿来図書館」の前身となるのは、昭和 47 (1972) 年 4 月 1 日に勿来支所 2 階に開館した「勿来図書館」です。

当時市内には平、常磐、内郷、磐城の 4 図書館があり、いずれも旧市時代から引き継がれたものでした。しかし、旧勿来市には図書館がなく、昭和 41 (1966) 年 10 月のいわき市発足以来、勿来地区だけ図書館がない状況でした。そのため、地区住民からの強い要望もあり、勿来支所 2 階の元議長室と議会委員会室を改装し、図書館としたのです。図書購入予算は 75 万円(当時)で、県立図書館の貸出文庫を活用するなどして蔵書を揃えました。

6 年後の昭和 53 (1978) 年 4 月 1 日、新館建設中だった植田公民館が開館したことに伴い、同公民館 3 階へ移転し、現在に至ります。



いわき市立植田公民館。

昭和 24 年に植田町公民館として開設したが、旧植田町役場庁舎を使用していたため老朽化が激しく、昭和 53 年に新築された。(昭和 56 年 10 月 いわき市撮影)



植田町役場庁舎を使用していた、旧植田公民館(昭和 49 年 11 月 いわき市撮影)

**勿来支所に図書館**

1 日開館へ準備急ぐ

地区民待望の勿来図書館が四月一日から新築なつた勿来支所二階で開館する。いわき市内の図書館は平、常磐、内郷、磐城の四カ所だけ、いずれも旧市時代から引き継いだ図書館だが、旧勿来市にはなかったもの。

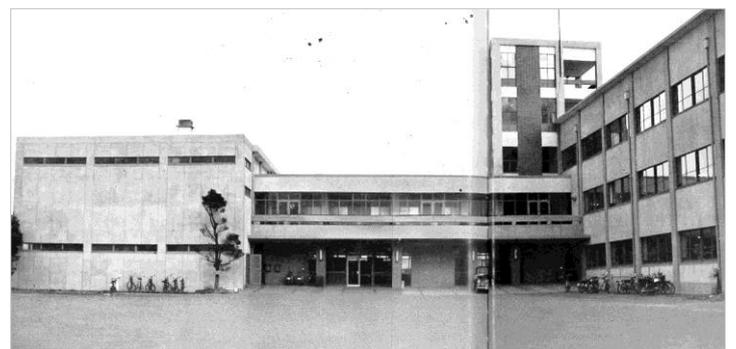
合併五年、勿来地区だけ図書館のないのは不公平と、書を求める地区民がたびたび市に陳情して実現させた。

新設の勿来図書館は二階の元議長室と議会委員会室の百四平方メートルを改装、委員会室の方を事務所と書庫に、議長室の方を図書室としてイス、テーブル五十人分を設けた。

開館の蔵書は、七十五万冊の予定で年内に一冊の新書を購入するが、取りうる全県立図書館からは千五百冊を借りるほか、植田公民館へ蔵書も応援、二千五百冊程度でスタートしたい計画。

なお開館時間は土曜日は午後五時まで時間を延長、市民の読書熱にしたためる。

『いわき民報』(昭和 47 年 3 月 30 日付)



勿来市役所(現 勿来支所)。昭和 47 年 4 月、2 階の元議長室と議会委員会室を改装し、勿来図書館とした。(『なこそ 勿来市勢要覧 昭和 39 年版』)